

施設評価

見直し検討対象 159 施設について、以下に記載する評価指標及び標準配点を定め、施設区分別の配点基準に基づき、別紙「施設評価一覧」のとおり評価点を付けました。

この評価点は、各施設の維持管理費、老朽化の度合、利用者数など客観的な数値を基に算出したものです。

評価項目	評価指標	標準配点
収支状況	ア 一般財源投入割合	20 点
	イ 利用者 1 人当たりの一般財源所要額	20 点
施設状況	ウ 残存耐用年数（又は築後の経過年数）	20 点
	エ 修繕見込	10 点
配置状況	オ 類似施設の設置状況	20 点
利用状況	カ 利用者数の推移	10 点
計		100 点

※評価指標別の評価点については、次頁のとおり。

※施設区分により配点は異なる。具体については「施設区分別の配点基準」のとおり。

《参考》用語の定義

収支状況及び利用状況の評価に関する数値は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、コロナ禍前 3 か年（平成 29 年度(2017)～令和元年度(2019)）の実績を使用しています。

①一般財源所要額

- ・直営施設においては、施設運営における収支の差額。
- ・指定管理施設においては、基本的に利用料金制を採用しているため、「指定管理料＋市直接支出額」で算出。ただし、市に収入がある場合には、その額を差し引いた額。

②維持管理費

- ・修繕費は、例年生じるような小規模修繕費とし、大規模改修・修繕費（1 件当たり 130 万円以上）は含まない。
- ・市職員人件費は含まない。
- ・指定管理施設においては、自主事業の経費も含む。

③耐用年数

- ・主たる建物に係る固定資産台帳の耐用年数

④修繕見込

- ・現在把握している令和 5 年度(2023)から令和 14 年度(2032)まで（10 年間）の見込額

⑤類似施設の設置状況

- ・民間施設も対象とし、距離は直線距離とする。

評価指標、評価点 ※評価点は評価指標別の配点に合わせて乗ずる

評価指標	計算式等	基準	評価点
ア 一般財源投入割合 (直近3年平均)	一般財源所要額／維持管理費	10%未満	10
		10%以上-20%未満	9
		20%以上-30%未満	8
		30%以上-40%未満	7
		40%以上-50%未満	6
		50%以上-60%未満	5
		60%以上-70%未満	4
		70%以上-80%未満	3
		80%以上-90%未満	2
		90%以上-100%未満	1
		100%以上	0
イ 利用者1人当たりの一般財源所要額 (直近3年平均)	一般財源所要額／利用者数	基準	評価点
		100円未満	10
		100円以上-200円未満	9
		200円以上-300円未満	8
		300円以上-400円未満	7
		400円以上-500円未満	6
		500円以上-600円未満	5
		600円以上-700円未満	4
		700円以上-800円未満	3
		800円以上-900円未満	2
		900円以上-1,000円未満	1
		1,000円以上2,000円未満	-5
		2,000円以上	-10
ウ 残存耐用年数	耐用年数－経過年数 ただし、昭和56年(1981)以前の建設で、耐震性が確認できていないもの及び耐震性がないと判断されたもの -3点	基準	評価点
		50年以上	10
		45年以上-50年未満	9
		40年以上-45年未満	8
		35年以上-40年未満	7
		30年以上-35年未満	6
		25年以上-30年未満	5
		20年以上-25年未満	4
		15年以上-20年未満	3
		10年以上-15年未満	2
		5年以上-10年未満	1
		5年未満	0
		築後の経過年数	整備後の経過年数 (建物を主としない施設に使用)
10年未満	10		
10年以上-15年未満	9		
15年以上-20年未満	8		
20年以上-25年未満	7		
25年以上-30年未満	6		
30年以上-35年未満	5		
35年以上-40年未満	4		
40年以上-45年未満	3		
45年以上-50年未満	2		
50年以上-60年未満	1		
60年以上	0		
エ 修繕見込	今後10年以内の修繕見込 (耐震補強工事費は含まない)	基準	評価点
		累計2千万円未満の修繕が見込まれる	10
		累計2千万円以上5千万円未満の修繕が見込まれる	8
		累計5千万円以上1億円未満の修繕が見込まれる	5
		累計1億円以上の修繕が見込まれる	0
オ 類似施設の設置状況	民間施設を含む類似施設との距離	基準	評価点
		15km圏内に類似施設なし	10
		10km圏内に類似施設なし	5
		5km圏内に類似施設なし	3
		5km圏内に類似施設あり	0
カ 利用者数の推移	直近3年トレンド	基準	評価点
		R1>H30>H29となっており、各年度の増加数が対前年で1割以上となっている	10
		R1<H30<H29となっており、各年度の減少数が対前年で1割以上となっている	0
		その他	5